Arcserve Unified Data Protection 9.x

新機能/拡張機能のご紹介

2024 年 4 月
Arcserve Japan

Rev 3.2

arcserve®

© 2024 Arcserve. All rights reserved

Arcserve UDP 9.x の特長

- ✓ セキュリティ・ランサムウェア対策強化
- ✓ 管理機能の拡充
- ✓ データベース バックアップの強化

arcserve®

© 2024 Arcserve. All rights reserved

Arcserve UDP 9.x 新機能/拡張機能のご紹介

セキュリティ・ランサムウェア対策の強化

© 2024 Arcserve. All rights reserved

アシュアード リカバリ：バックアップ データ の健全性を自動確認

バックアップ データがリストア可能であることを手間をかけずに自動で確認
Arcserve UDP 9.0 からは標準機能として Advanced Edition で利用可能に

バックアップから確認処理の後始末までを全自動化

- バックアップとレプリケート後のデータを確認
- 手動、もしくは曜日・時間を指定して実行
- 確認結果をメールで通知

arcserve®

© 2024 Arcserve. All rights reserved

アシュアード リカバリ：復旧ポイントを確認する2つの方法

インスタントVM方式

インスタントVM

本番ネットワークとは分断して起動できる！確認用ディスク スペースは不要！

[確認できるポイント]

- システムが起動可能か?
- サービス実行が可能か？
- アプリケーション サービスの整合性は取れているか？(カスタムスクリプトを利用)

[利用条件]

- インスタントVMの実行条件を満たす物理/仮想OSを含むバックアップ
- インスタントVMの仮想基盤は vSphere / Hyper-V / AHV（Linux VM のみ）

インスタント仮想ディスク方式

インスタント仮想ディスク

仮想環境不要！確認用ディスクスペースも不要！

[確認できるポイント]

- ファイル システムの整合性が取れているか?
- ディスクに破損はないか?
  - ✓ chkdsk による確認も可能
- 特定ファイルの読み出しが可能か?(カスタムスクリプトを利用)

[利用条件]

- Windows のデータ ボリューム、共有フォルダ、Microsoft 365、Oracle RMAN のバックアップ

arcserve®

© 2024 Arcserve. All rights reserved

BitLocker で暗号化された VM を暗号化されたまま復旧

エージェントレス バックアップしたVMの、仮想化された TPM※（vTPM）の復旧が可能に

※ TPM…Trusted Platform Module – BitLocker や Windows Hello などで使われる、
暗号 USB メモリ キーや生体認証デバイスなどと連携するセキュリティ チップ

Before :

VM の復旧後に vTPM の設定を
しなければいけないので大変！

After :

暗号化されたまま VM を復旧！

以下でご利用可能です
- **VMware vSphere 環境**
  - 「VM の復旧」
- **Microsoft Hyper-V 環境**
  - 「VMの復旧」、仮想スタンバイ、インスタントVM

arcserve®

© 2024 Arcserve. All rights reserved

その他のセキュリティ向上

- **電子メール アラートで Gmail または Microsoft 365 を使用する際、先進認証（OAuth 2.0）を使用可能に**

※設定の詳細はソリューションガイドの以下ページをご参照ください。
Gmail のための OAuth 2.0 認証を設定する方法
Office 365/Outlook メールのための OAuth 2.0 認証を設定する方法

- **ランサムウェア対策に使用する ”隠しボリュームを使用した RPS データストア” ※ に対して整合性チェック機能 “as_gddmgr.exe “ コマンドが利用可能に**

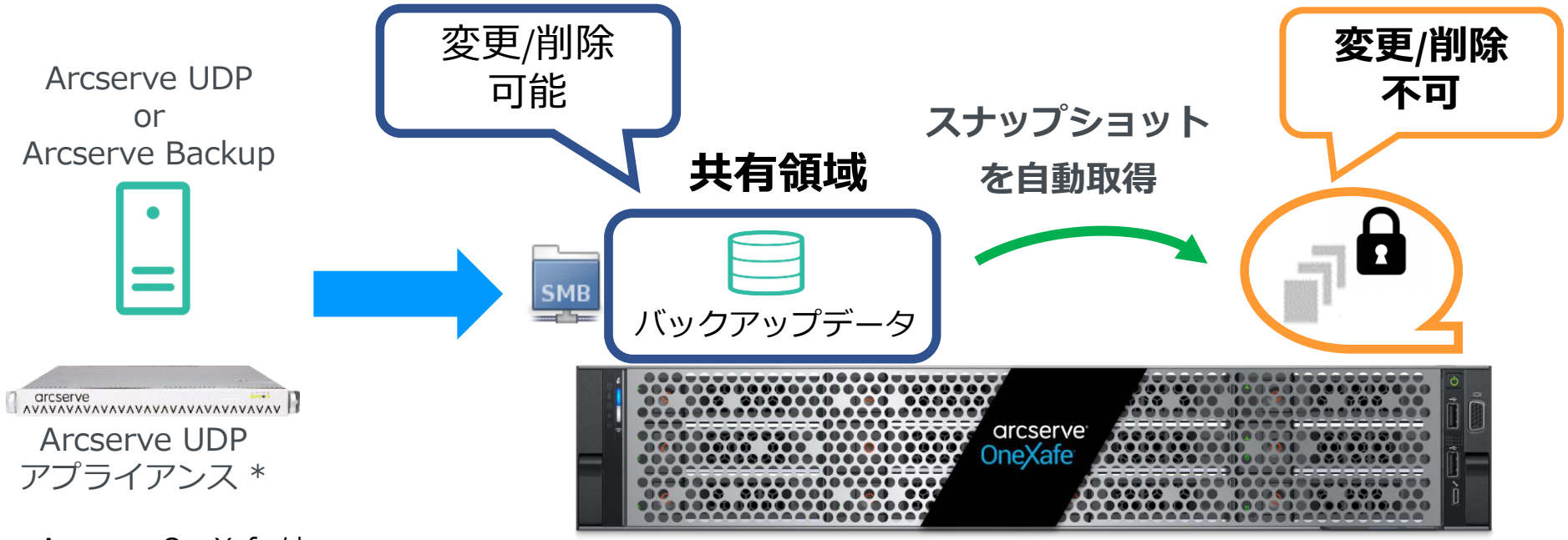
※詳細は「Arcserve UDP 8.x 新機能/拡張機能のご紹介」をご参照ください。

arcserve®

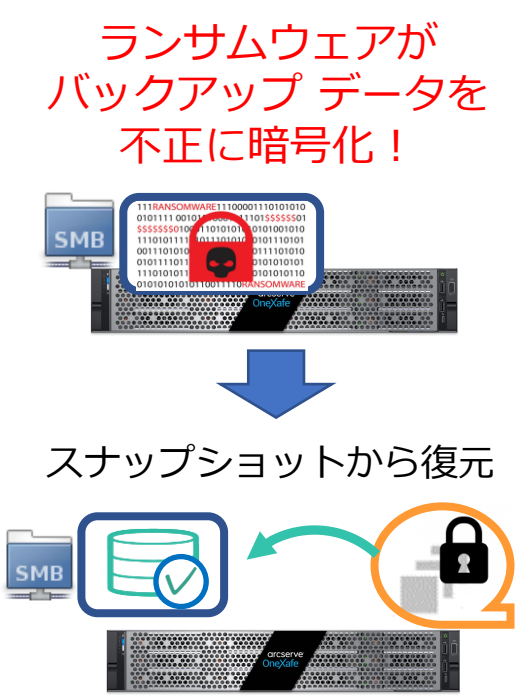
© 2024 Arcserve. All rights reserved

参考：ランサムウェア対策の切り札！“Arcserve OneXafe“

ランサムウェアなどの攻撃からバックアップ データを守る、バックアップ データ専用のイミュータブル（不変）ストレージ製品



- Arcserve OneXafe は
  レプリケート先で利用可



Arcserve UDP の継続増分・重複排除のバックアップ運用とバックアップ データの改変防止を両立！！

arcserve®

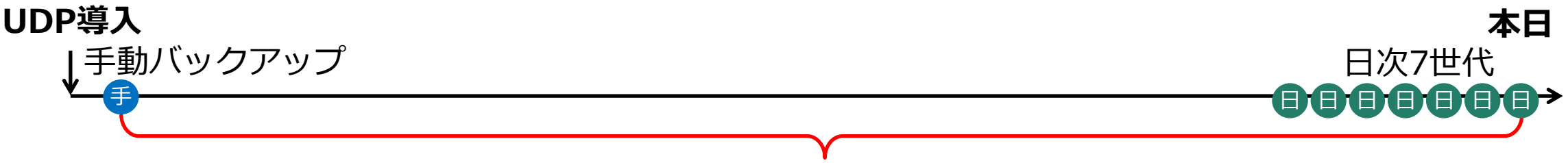
© 2024 Arcserve. All rights reserved

管理機能の拡充

© 2024 Arcserve. All rights reserved

手動ジョブによる復旧ポイントの残存(1)：Arcserve UDP 8.x 以前

【課題】Arcserve UDP 導入時に動作確認などで手動バックアップを実施していると、
その復旧ポイントが運用に不要であったとしても残存してしまう

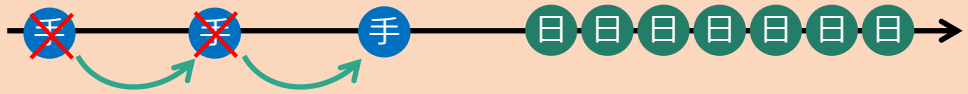


最初の手動フルを起点としたバックアップ データを維持
⇒運用に不要なバックアップ データが残存

バックアップ種別	復旧ポイント保持数 デフォルト
毎日	7
毎週	0
毎月	0
カスタム/手動	31

最小は 1
“0” にはできない

従来はこれを 1 にして、
定期的に手動バックアップすることで
運用に必要なバックアップのみを維持



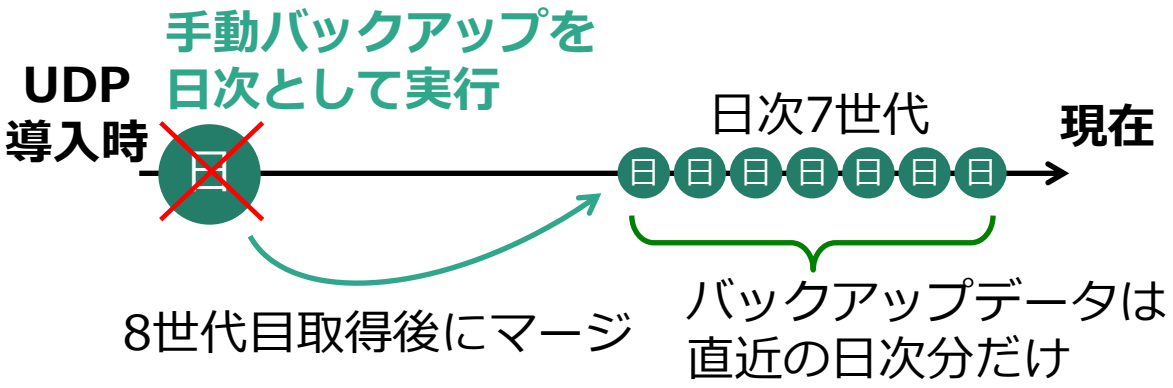
Arcserve UDP 9.0 以降では、この復旧ポイント残存を “回避” 、“解消” することが可能に！

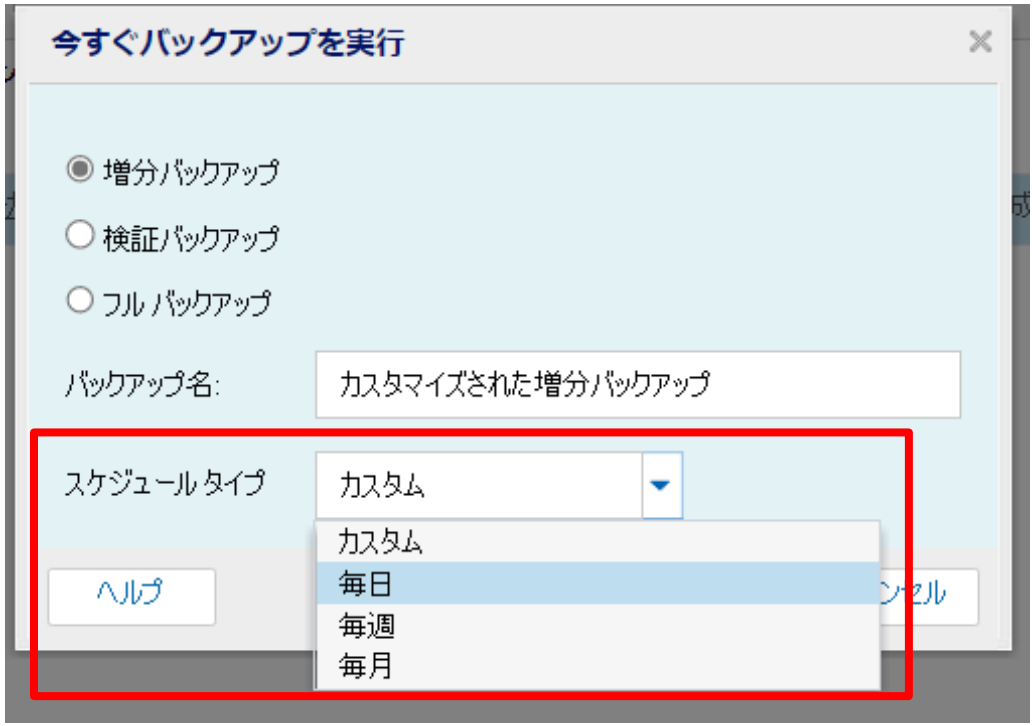
arcserve®

© 2024 Arcserve. All rights reserved

手動ジョブによる復旧ポイントの残存(2) ：スケジュール タイプの指定

手動バックアップをスケジュール バックアップ扱いにすることで残存を”回避”





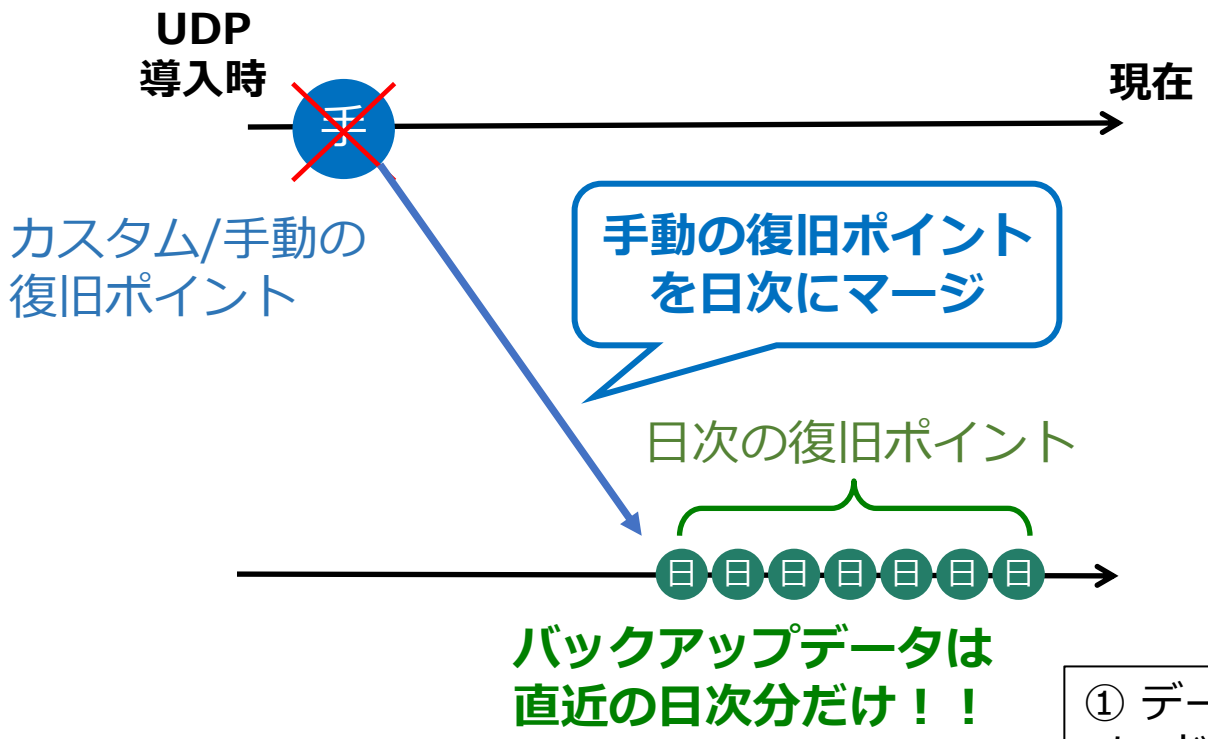
手動バックアップを
スケジュール扱いで実行

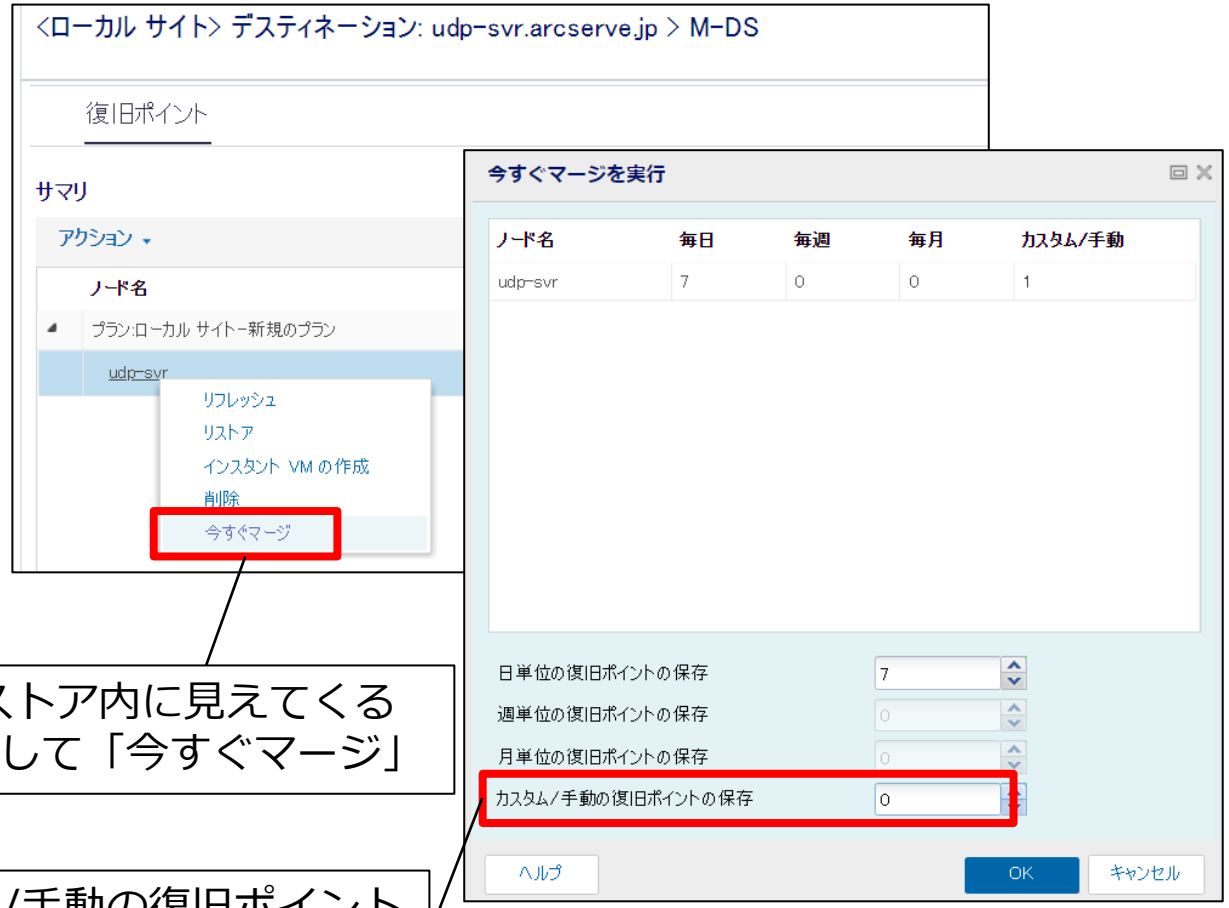
© 2024 Arcserve. All rights reserved

手動ジョブによる復旧ポイントの残存(3) ：復旧ポイントの整理

手動バックアップの復旧ポイント保存数を"0" でマージすることで残存を"解消"

※こちらは RPS 利用時のみの機能となります。





① データストア内に見えてくるノードに対して「今すぐマージ」

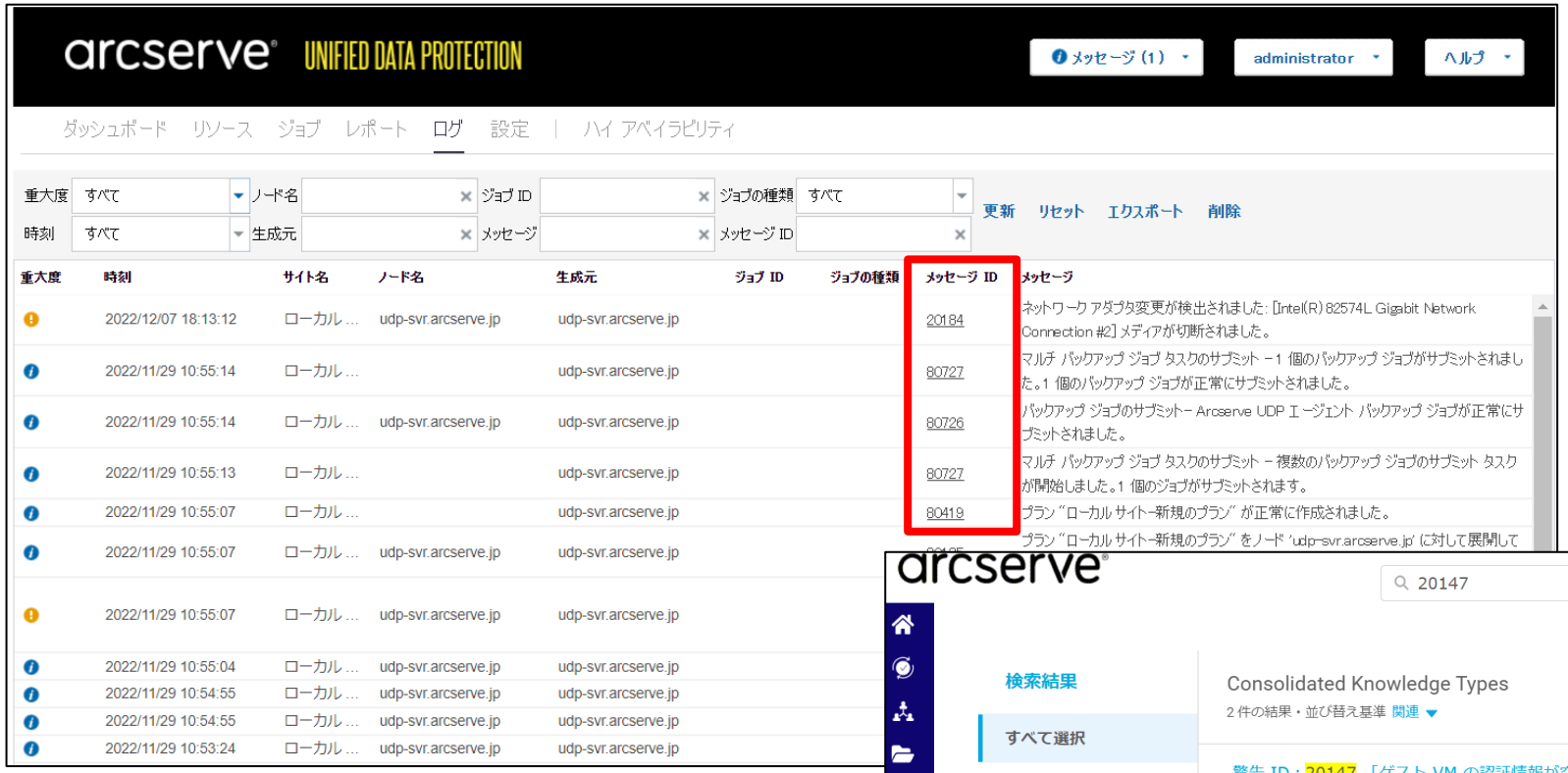
② カスタム/手動の復旧ポイントの保存数を "0" に指定可能

arcserve®

© 2024 Arcserve. All rights reserved

Arcserve UDP コンソール　アクティビティログの全メッセージにIDが付与

トラブル シュートに活用可能



Arcserve サポート ポータル で ID を検索して情報収集

© 2024 Arcserve. All rights reserved

“未完了” ジョブ ステータスの追加と条件設定 (1) ：未完了の追加

ジョブ内でスキップされたソースがあった場合などを的確に把握

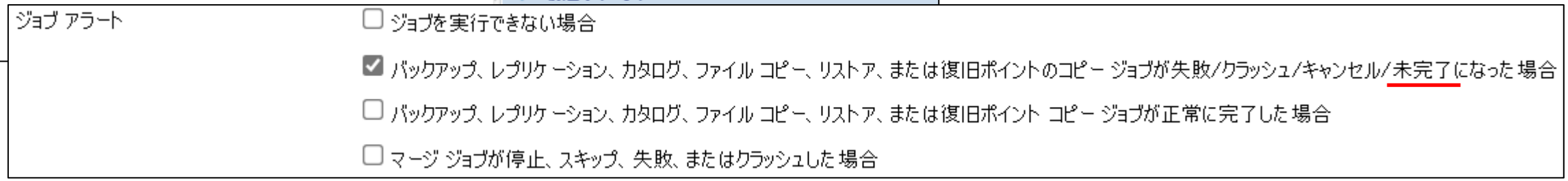
従来は、ジョブ内で警告メッセージが記録されてもジョブ全体は［完了］と表示されたため、対処の必要性に気づきにくかった

⇒［完了］と［失敗］の中間のステータスとして［未完了］を追加

ジョブのステータス

- ［完了］　ジョブの処理中に特定の警告メッセージは出力されなった。後続の処理は実行される
- **［未完了］　ジョブの処理中に特定の警告メッセージが出力された。後続の処理は実行される**
- ［失敗］　ジョブの処理中にエラーが発生した。後続の処理は実行されない

アラート通知やレポートとも連携



© 2024 Arcserve. All rights reserved

“未完了” ジョブ ステータスの追加と条件設定 (2)：条件設定

軽微な警告に煩わされないようにするために、未完了となる条件を変更できる

以下ファイル内の警告メッセージをコメントアウトすることで、ジョブが未完了になる条件を変更

C:¥Program Files¥Arcserve¥Unified Data Protection¥Engine¥Configuration¥IncompleteStatus.ini

```
[Warnings for IncompleteStatus]

[UNC/NFS and Nutanix Files Backups]

20029 #Skipping file {file_path}. It is part of the current backup session.
20170 #Skipped some files/directories, other than Symbolic Links/Mount Points skipped from backup. For details, refer to the backup log
file.
20402 #Unable to read file:{file_path}.
20408 #Unable to read file:[{file_path}]. Error: [{error_message}].

[WRP related Warnings]

20106 #Data inconsistency found in recovery point {session_number}, the next job will be converted to a verify backup job.
```

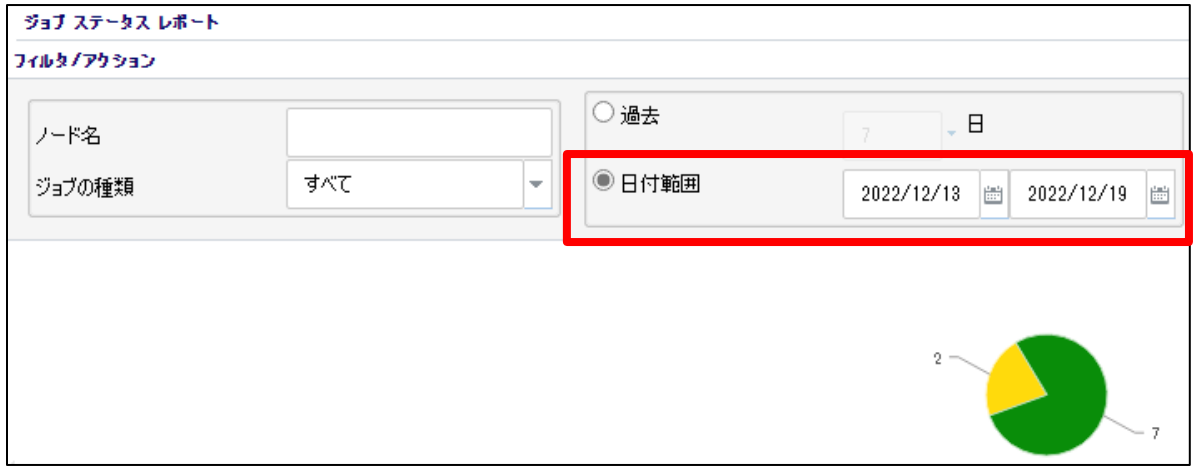
参考：Arcserve UDP 9.x ソリューションガイド – 未完了のバックアップ ジョブ ステータス関連

© 2024 Arcserve. All rights reserved

Arcserve UDP コンソール　レポートの強化

「バックアップ成功率レポート」の追加 – 各ノードの日次/週次/月次の成功率を確認

「ジョブステータス レポート」に日付範囲フィルタを追加



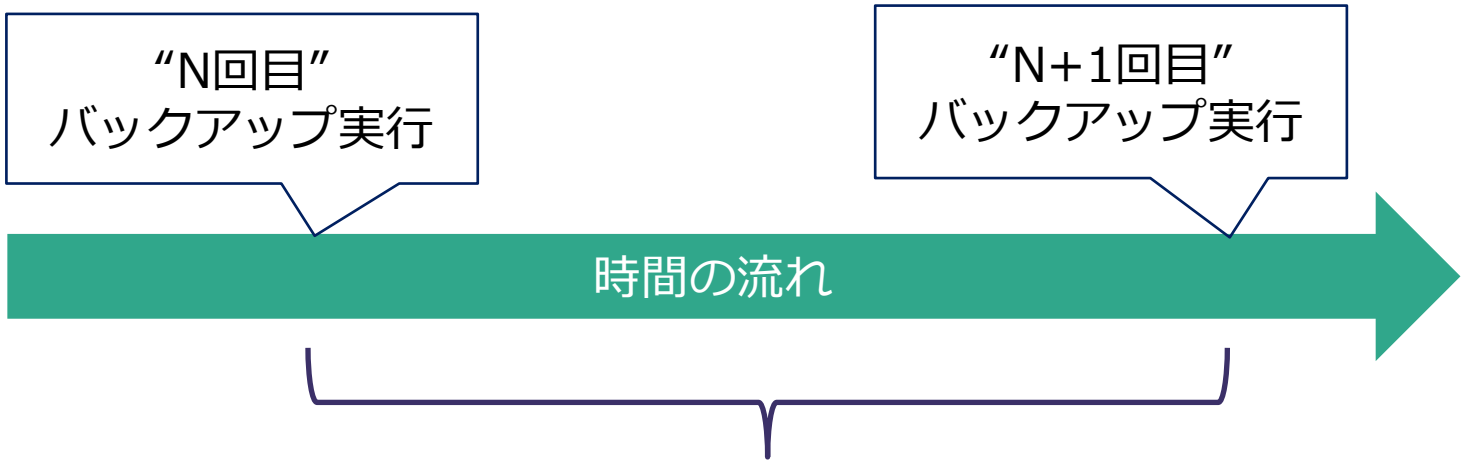
© 2024 Arcserve. All rights reserved

データベース バックアップの強化

© 2024 Arcserve. All rights reserved

Microsoft SQL復旧機能の強化：任意の時点にGUIで簡単復旧

Point-in-time（PIT）復旧とは



この間の任意の時点に復旧可能

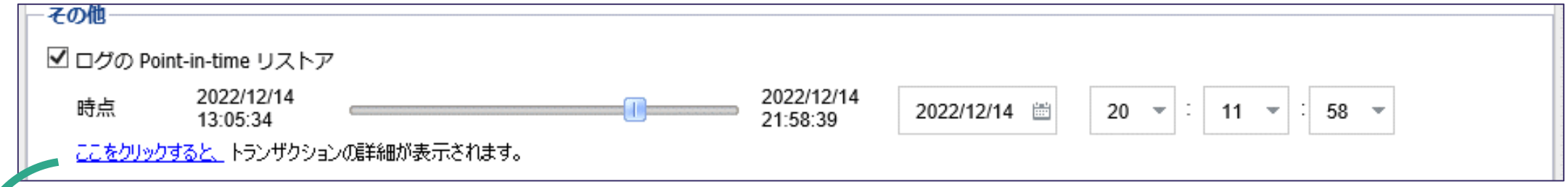
前提条件

- バックアップ実行前に、Point-in-time を有効化する必要あり
- エージェント経由でバックアップ
- 2つ以上の復旧ポイントが必要

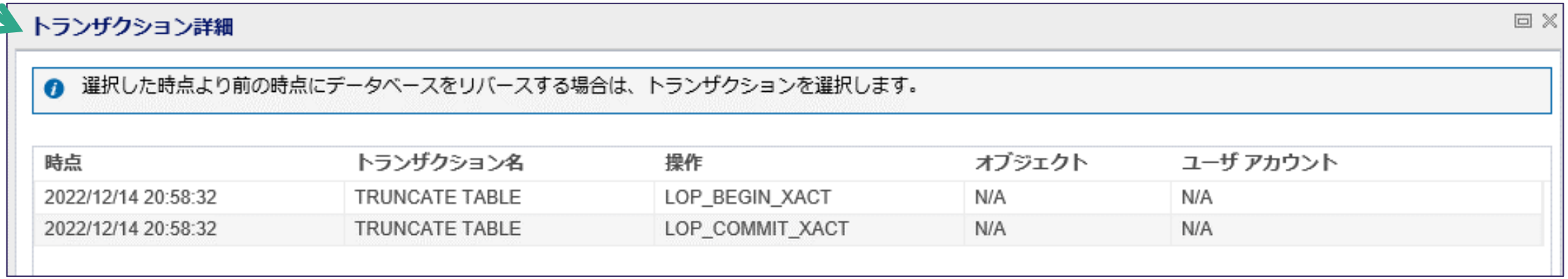
© 2024 Arcserve. All rights reserved

Microsoft SQL復旧機能の強化：任意の時点にGUIで簡単復旧 - 設定画面

スライドバーやカレンダーで復旧したい時点を簡単に指定できます！！



更にトランザクションの詳細も確認可能！



時点	トランザクション名	操作	オブジェクト	ユーザ アカウント
2022/12/14 20:58:32	TRUNCATE TABLE	LOP_BEGIN_XACT	N/A	N/A
2022/12/14 20:58:32	TRUNCATE TABLE	LOP_COMMIT_XACT	N/A	N/A

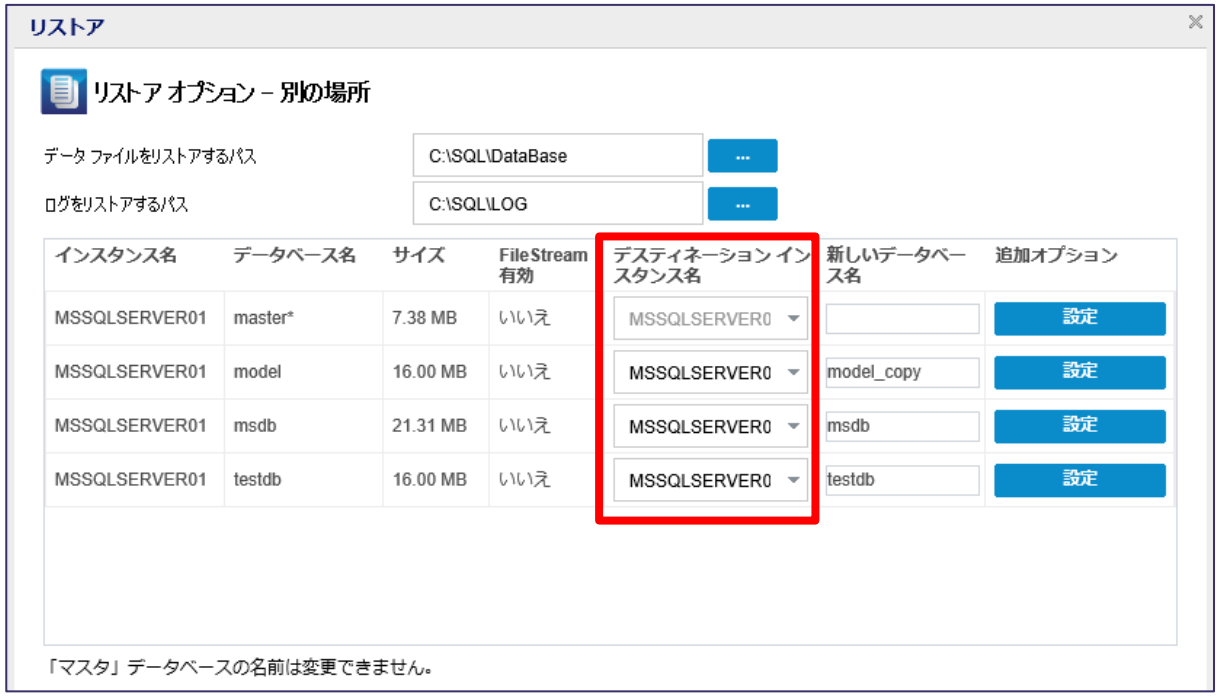
arcserve®

© 2024 Arcserve. All rights reserved

Microsoft SQL復旧機能の強化：別なインスタンスへのリストアが可能に

別の場所へのリストアが可能に、
データベースごとにインスタンスと名前を設定可能

リストア先のインスタンス名を変更することで、
クラスタ構成のリストア設定が可能

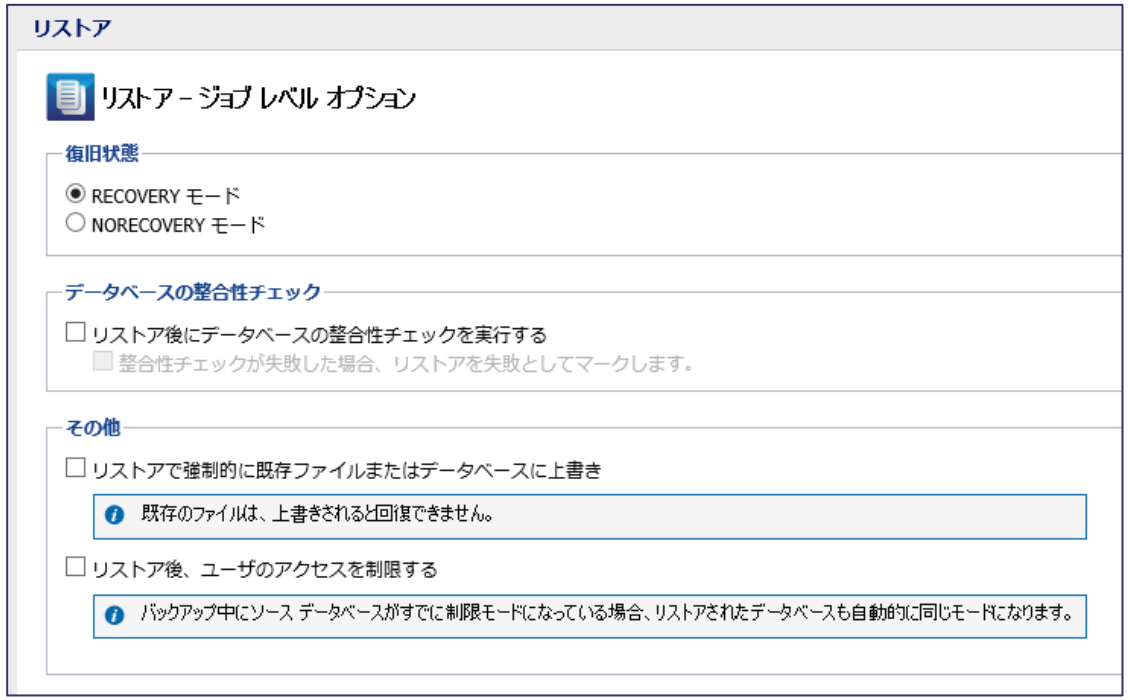


arcserve®

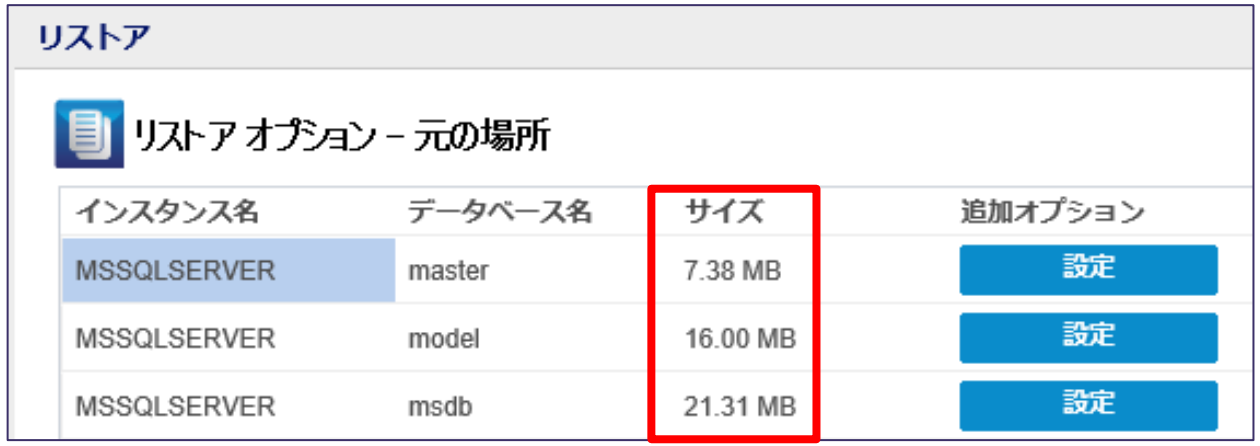
© 2024 Arcserve. All rights reserved

Microsoft SQL復旧機能の強化：復旧方法を詳細に、事前のサイズ確認も可能

「復旧状態」の指定や「データベースの整合性チェック」など詳細な設定が可能に



リストア前にデータベースのサイズを確認できる



© 2024 Arcserve. All rights reserved

Oracleデータベースの RMAN 対応

Premium / Premium Plus

Windows / Linux 上の Oracle データベース を Recovery Manager（RMAN）でバックアップ/ リストア・リカバリ

Windows / Linux

エージェントレスで
データベースを保護

Point in Time, SCN,
ログシーケンスを
指定してリカバリ

アシュアードリカバリで
整合性の確認可能

※ 日本では、Oracle RAC 環境は非サポートとなります

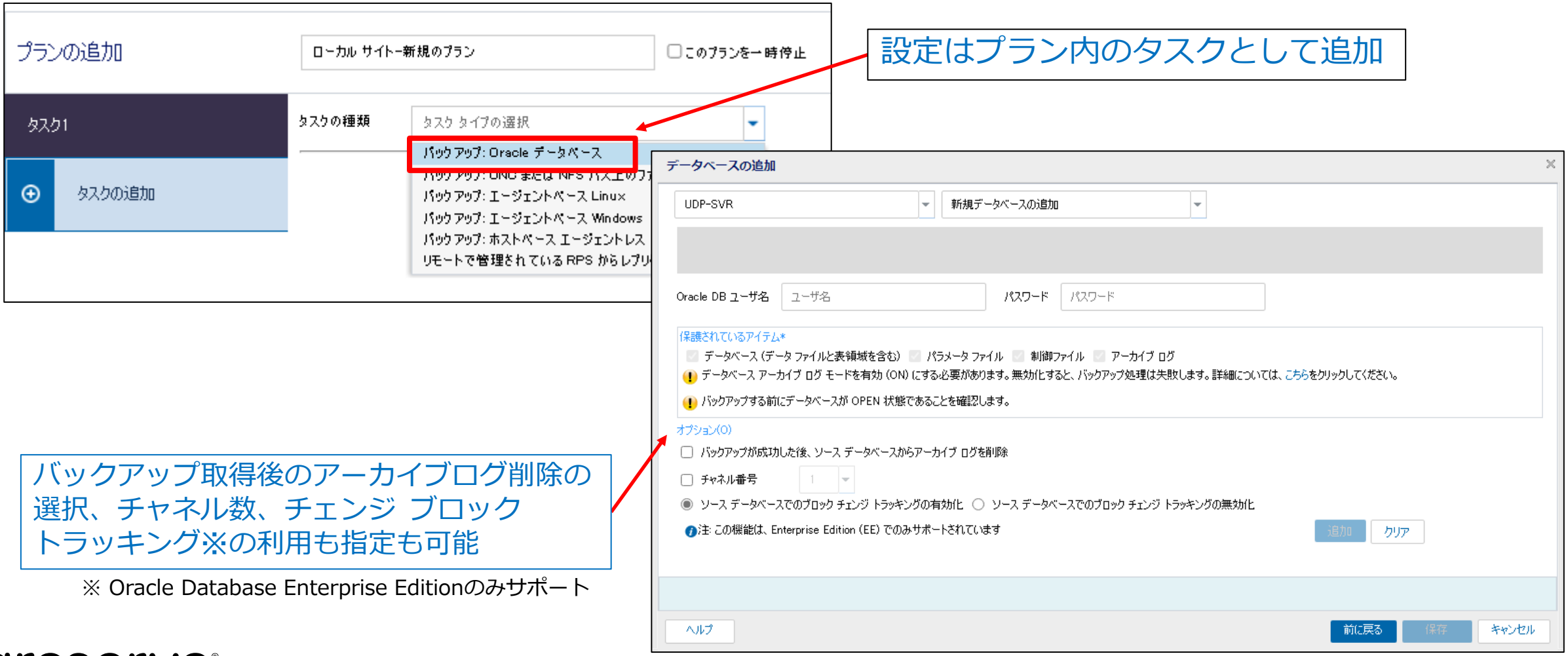
arcserve®

© 2024 Arcserve. All rights reserved

Oracleデータベースの RMAN でのバックアップ

Premium / Premium Plus

GUI で簡単設定、アーカイブログの削除も設定可能！



設定はプラン内のタスクとして追加

バックアップ取得後のアーカイブログ削除の選択、チャネル数、チェンジ ブロック トラッキング※の利用も指定も可能

※ Oracle Database Enterprise Editionのみサポート

arcserve®

© 2024 Arcserve. All rights reserved

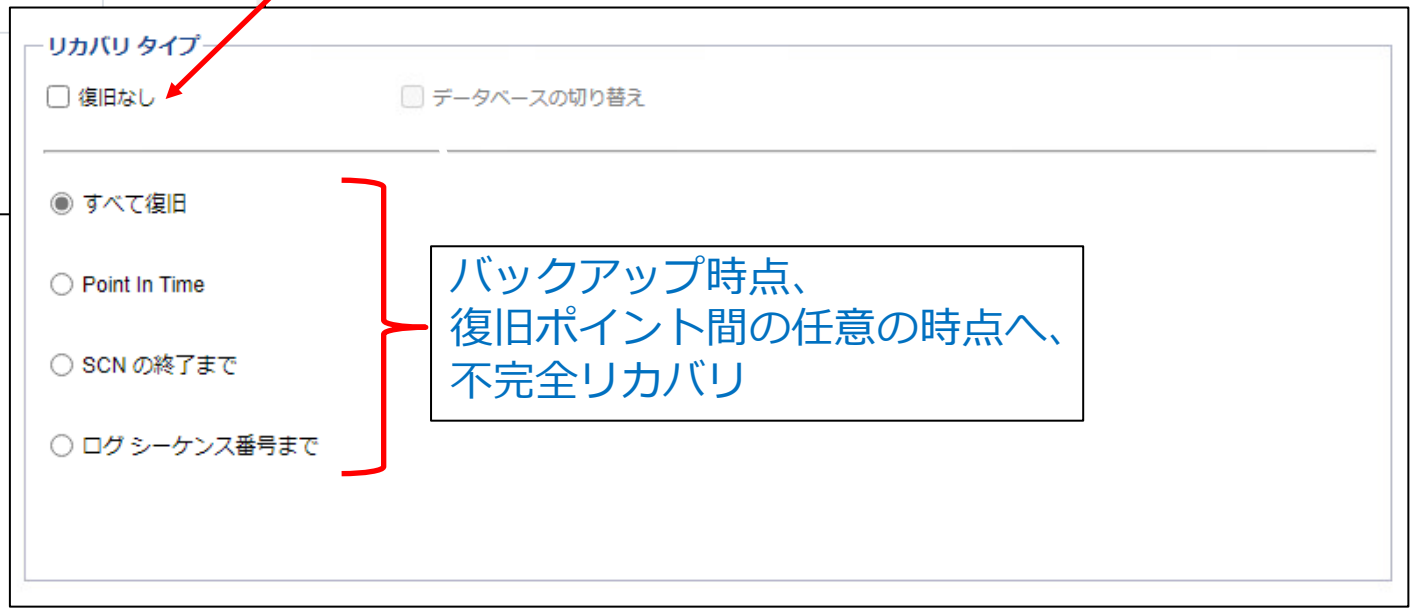
Oracleデータベースの RMAN でのリストア・リカバリ

Premium / Premium Plus

リストア・リカバリも GUI で簡単実行！リストア後、任意のリカバリも実行可能

リストア後、マウントモードで起動
リストアデータから任意のリカバリを実行可能

CDB単位だけでなく、PDBやテーブルスペース単位でリストア対象を選択可能



バックアップ時点、
復旧ポイント間の任意の時点へ、
不完全リカバリ

arcserve®

© 2024 Arcserve. All rights reserved

対応環境の拡張と注意事項

© 2024 Arcserve. All rights reserved

新対応プラットフォーム/アプリケーション

プラットフォーム / アプリケーション
• **VMware vSphere 8.0, 8.0 Update1** ※1**, Update2** ※2 • **Nutanix AHV (AOS) 6.5** ※3 • **Nutanix Files 4.2** • **Microsoft SQL Server 2022 (バックアップ対象および Arcserve UDP コンソールの DBとして)** • **UEFI Windows ブート サーバのAzure への仮想スタンバイ サポート** ※4

※1 Arcserve UDP 9.1 以降でサポート
※2 Arcserve UDP 9.2 以降でサポート
※3 Arcserve UDP 9.0 ではパッチ P00002803 の適用が必要です。
※4 Azure 上では第 2 世代の VM として作成されます。

arcserve®

© 2024 Arcserve. All rights reserved

新対応プラットフォーム/アプリケーション（Linux）

Linux OS Support	OS Version	Backup Server	Backup Client	インスタントVM	BMR
Red Hat Enterprise Linux	8.8※1	○	○	○	○
	9.0 - 9.2 ※1	△※3	○	×	×
AlmaLinux	8.4-8.6, 8.8※1	○	○	○	○
	9.0 - 9.2 ※1※2	△※3	○	×	×
Rocky Linux	8.4-8.6, 8.8※1	○	○	○	○
	9.0 - 9.2 ※1※2	△※3	○	×	×
Oracle Linux (RHEL 互換)	8.4-8.6, 8.8※1	○	○	○	○
	9.0 - 9.2 ※1※2	△※3	○	×	×
Oracle Linux (UEKのみ)	8.2 - 8.6, 8.8 UEK R3 – R7	○	○	○	○
	9.0 UEK R7 ※1※2	○※3	○	×	×
SUSE Linux Enterprise Server 15	SP4 , SP5※1	△※4	○	△※4	△ ※4
Debian	10.13, 11.2-11.5	○	○	○	○
Ubuntu	LTS Server 22.04	○	○	○	○

※1「RHEL系の8.8 , 9.1 – 9.2」「SUSE Linux Enterprise Server 15 SP5」は Arcserve UDP 9.2 以降でサポート
※2「RHEL系の9.0」は Arcserve UDP 9.1 以降でサポート
※3「RHEL系の9.1-9.2」は Linux Backup Server 未サポート
※4 SUSE Linux Enterprise Server 15 SP4 のみサポート、SP5 は未サポート

arcserve®

© 2024 Arcserve. All rights reserved

注意事項

- Arcserve UDP 9.0 から、トライアル版（評価版）で Microsoft 365 のバックアップを行うにはライセンス キーの適用が必要になります。トライアル申し込み時にライセンス キーを記載した電子メールをお送りしますので、プランの作成前にライセンス キーを適用してください。

  また、製品のライセンスキーでも Microsoft 365 については別にキーが発行されます。

- Cloud Console による Arcserve UDP の管理は日本では未サポートです。

© 2024 Arcserve. All rights reserved

価格

© 2024 Arcserve. All rights reserved

価格：永続（パーペチュアル）ライセンスとサブスクリプションから選択可能

エディション	サーバ単位 (Server)		ソケット単位 (Socket)	
	永久ライセンス+ 1年メンテナンス	永久ライセンス+ 5年メンテナンス	永久ライセンス+ 1 年メンテナンス	永久ライセンス+ 5年メンテナンス
Advanced Edition	¥130,000 (¥143,000)	¥222,000 (¥244,200)	¥130,000 (¥143,000)	¥222,000 (¥244,200)
Advanced Edition for Nutanix	–	–	¥130,000 (¥143,000)	¥222,000 (¥244,200)
Premium Edition	–	–	¥258,000 (¥283,800)	¥438,000 (¥481,800)
Premium Plus Edition	–	–	¥386,000 (¥424,600)	¥654,000 (¥719,400)

エディション	サーバ単位 (Server)		ソケット単位 (Socket)	
	サブスクリプション1年 メンテナンス付き	サブスクリプション5年 メンテナンス付き	サブスクリプション1年 メンテナンス付き	サブスクリプション5年 メンテナンス付き
Advanced Edition	¥44,000 (¥48,400)	¥220,000 (¥242,000)	¥44,000 (¥48,400)	¥220,000 (¥242,000)
Advanced Edition for Nutanix	–	–	¥44,000 (¥48,400)	¥220,000 (¥242,000)
Premium Edition	–	–	¥87,000 (¥95,700)	¥435,000 (¥478,500)
Premium Plus Edition	–	–	¥131,000 (¥144,100)	¥655,000 (¥720,500)

エディション	容量単位 (1TB)		容量単位 (1TB)	
	永久ライセンス+ 1年メンテナンス	永久ライセンス+ 5年メンテナンス	サブスクリプション1年 メンテナンス付き	サブスクリプション5年 メンテナンス付き
Advanced Edition	¥784,000 (¥862,400)	¥1,312,000 (¥1,443,200)	¥128,000 (¥140,800)	¥640,000 (¥704,000)
Advanced Edition for Nutanix	–	–	¥128,000 (¥140,800)	¥640,000 (¥704,000)
Premium Edition	¥1,305,000 (¥1,435,500)	¥2,181,000 (¥2,399,100)	¥255,000 (¥280,500)	¥1,275,000 (¥1,402,500)
Premium Plus Edition	¥2,289,000 (¥2,517,900)	¥3,817,000 (¥4,198,700)	¥382,000 (¥420,200)	¥1,910,000 (¥2,101,000)

※メンテナンスは3年、4年もございます。インストールメディアは別売です。金額は税抜きで、括弧の中は税込みです。
※アカデミック用など記載のないライセンスは " https://www.arcserve.com/jp/licensing-options" を参照下さい。

arcserve®

© 2024 Arcserve. All rights reserved

お問い合わせはこちらから

Arcserve ポータルサイト： **www.arcserve.com/jp**
カタログセンター （カタログ、技術資料）

Arcserve カタログセンター　検索

Arcserve ジャパン ダイレクト （購入前のお問い合わせ）

例：「この構成で必要なライセンスを教えてください」、
「Arcserve UDP はXXXに対応していますか？」、
「XXXはサポートされますか？」

フリーダイヤル： **0120-410-116**
（平日 9：00～17：30　※土曜・日曜・祝日・弊社定休日を除きます）

Webフォーム：https://www.arcserve.com/jp/about/contact/call-me/

arcserve®

© 2024 Arcserve. All rights reserved

arcserve®

arcserve Japan合同会社

arcserve/jp

© 2024 Arcserve. All rights reserved